

シンガポール国立大学での滞在を終えて
物理学専攻 博士2年新保厚

2016年12月1日から14日まで、シンガポール国立大学にある Center of Quantum Technologies (CQT) の Vlatko Vedral 教授のグループに滞在させていただきました。滞在中は筆者の研究テーマ「オラクルを用いた未知のユニタリ操作の識別問題」について、グループの方々や、名古屋大学の林正人教授と議論をさせていただきました。2週間という短い期間ながら、いくつか貴重なフィードバックを得ることができました。CQT は世界最大級の量子情報に関連した研究施設であり、世界中から多くの著名な研究者が出入りしています。そのような研究施設にて、日々行われるセミナーや、年1回開催される CQT Annual Symposium にも参加することができ、多くの刺激を受けました。このような貴重な機会を与えてくれた ALPS、また、お世話になった Vlatko Vedral 教授のグループの方々、CQT のスタッフの方々、林正人教授に感謝を申し上げます。



シンガポール動物園にて撮影したサルたち